

会 議 録		令和6年2月14日作成	令和9年3月末日廃棄
会議名	京都府舞鶴警察署協議会（令和5年度第4回）		
開催日	令和6年2月13日（火曜日）		
時 間	午後4時から午後5時30分までの間（90分）		
場 所	京都府舞鶴警察署 本庁舎講堂		
出席者	宮本会長、吉岡副会長、伊庭委員、福本委員、船越委員、加藤委員、桑村委員、澤江委員、前田委員、矢野委員 （欠席 土井副会長） 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、地域課長代理、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計11人		
諮 問 事 項	1 採用活動について 2 各課からの令和5年中の業務報告		
会 議 内 容	1 署長挨拶 司会 副署長 2 会長挨拶 3 協議 司会 会長 諮問事項説明 (1) 採用活動について～警務課長 (2) 各課からの令和5年中の業務報告～各課長 【委員】近年、日本では少子高齢化が急激に進み、その中で一定の警察官採用試験受験者数を確保し続けるのが困難なことはよく分かる。以前、海上保安庁を舞台にしたドラマが放映された際、海上保安官の受験者数が激増したというニュースを耳にしたが、実際とはかけ離れた内容の刑事ドラマや現場の緊迫を伝える警察の密着番組だけではなく、現実の職務で味わう苦労ややりがいなどをメディアを通じてもっと発信していけば、警察の仕事に興味を持つ若者が増えるのではないだろうか。また、舞鶴警察署は何年後かに庁舎の新築建て替えを控えているが、それもひとつのセールスポイントである。きれいで環境の整った職場は魅力的であり、アピールする価値は大きい。 【委員】交通課の業務報告に関してであるが、舞鶴でいまだに飲酒運転が無		

会 議
内 容

くならないのは田舎特有の交通事情にも原因があると思う。具体的には、舞鶴は夜間におけるタクシーの数がかなり少ない。都市部でも減少しているそうだが、田舎は更に状況が顕著である。そのような現状を踏まえた上で、行政や民間業者とも連携をして効果的対策を講じるべきだと思う。

【委員】 犯罪抑止については、我々市民がもっと関心を持ち、気を付けていかなければならない。なぜなら、そういう市民が増えれば増えるほど、犯罪を犯そうとする者からすれば「見られている」という意識が強くなる。昔は隣近所が全て顔見知りで、それによってかなり治安が保たれていた。また、子供の成長・教育に関しては、特にそれが重要であると思う。防犯は決して警察だけで成り立つものではない。市民全体で盛り上げ、舞鶴を自分たちの手で守っていきたい。

4 事務連絡

令和6年度第1回京都府舞鶴警察署協議会は令和6年6月中に実施予定である。

以上

第4回京都府舞鶴警察署協議会の開催状況

